科目名 **Course Name**	領域表現 Domain representation				**ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ** **No.**	K2-006	
年次	1 年	**期別**	後期	**単位数**	2	**授業形態**	講義
担当者氏名	岡泉　志のぶ						
連絡方法	C-Learning で対応。または講義棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択（幼稚園教諭二種教職課程必修）						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	子どもの表現は、生活や遊びの経験から生まれる。この講義では、乳幼児の表現に関わる保育内容の変遷を知り、子どもの日々の表現に共感して豊かな表現を引き出すことを目指していく。様々な表現活動の考案や保育カリキュラムをどのように具現化して子どもたちに経験させるのか、幼稚園教育要領の領域「表現」のねらいと内容を踏まえた保育の「表現」の在り方を考える。 この講義の到達目標は以下の 4 つである。 ① 新幼稚園教育要領における「表現」のねらいと内容について、具体的に述べることができるようにする。 ② 日常生活を通して、「表現」の考え方と実例を関連付けて、子どもの表現を考察することができるようにする。 ③ 保育現場で活かせる保育カリキュラムを計画し、表現活動の内容を立案できるようにする。 ④ 保育者としてどのように子どもの表現を引き出すのか、どのような方法や援助が適しているのかを考案することができるようにする。						
授業の方法	講義では、ディスカッション、対話型を取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で総合的な実践力の習得を図る。また、教育実習で捉えた子どもの表現について事例をあげ、課題解決に向けた方法を取り入れる。						
学習成果	LO1						
	LO2	「表現」のねらいと内容を把握し、表現活動へ展開するために必要な保育カリキュラムを考案することができる。子どもの表現における専門的な捉え方や保育者自身の豊かな感性を身につけることができる。					
	LO3	日常生活や保育の様々な活動において、子どもの表現を捉えて個々の表現を引き出すことができる。保育教材の選定や指導方法、年齢に応じた援助ができ、表現活動を展開することができる。					
	LO4						
課題に対するフィードバック	事前事後で学習したことをノート、C-learning にて確認し、フィードバックする。						
教科書／参考図書	教科書：保育内容領域表現　堂本真実子著　わかば社 参考書：適宜、資料と楽譜等の配布をする。						
履修上の留意点やルール等	●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話（楽曲を調べる以外）は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準

評価の領域	**評価基準**	**学習成果の割合**			
		LO1	LO2	LO3	LO4
授業参加態度	積極的に授業に参加し、ディスカッションでは意欲的に発言する。（10 点）　授業内での板書・事前事後学習ノートを作成している。（10 点）		20		
レポート／作品	幼稚園教育要領表現のねらいと内容をA4 にデザイン画として製作して提出する。（10 点）　クリスマスカードを製作して提出する。（10 点）		20		
発表					
小テスト					

試験	試験は定期試験として 50 点(満点)とする。			50	
その他	「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」(ワークシート)を自分自身で確認し、教育実習前と後でチェックする。子どもの姿から、自身が体験し考えたことについて、実習後に報告書として提出する。(10 点)			10	
合 計			40	60	

回数		**授業計画**
1	**授業内容**	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、 子どもの表現を考える－幼少期の表現における調査－
	事前・事後学習	授業で紹介した内容を活用し、子どもの表現について考える。事前・事後学習は、各回個々のノートで学習する。(ノート:2 回提出あり)
2	**授業内容**	子どもの表現をどう捉えるのか①　－保育内容領域「表現」について－
	事前・事後学習	幼稚園教育要領「表現」のねらいと内容についてデザイン画を作成①
3	**授業内容**	子どもの表現をどう捉えるのか②　－環境を構成する保育者－
	事前・事後学習	幼稚園教育要領「表現」のねらいと内容についてデザイン画を作成②
4	**授業内容**	幼稚園教育要領「表現」のねらいと内容の捉え方　小学校教育と領域「表現」の関連性
	事前・事後学習	「表現」のねらいと内容を踏まえ、幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を学習。
5	**授業内容**	子どもの豊かな表現を引き出す保育者の役割①　保育者自身の表現性
	事前・事後学習	授業で学んだことを復習して活動事例を考え、ノートにまとめる。
6	**授業内容**	子どもの豊かな表現を引き出す保育者の役割②　手遊びの実践と子どもへの効果
	事前・事後学習	各年齢に相応しい手遊びリストをノートに作成し、実習に向けた手遊びを選定して実践した曲名を記録する。
7	**授業内容**	子どもの育ちと表現　－子どもの心を表現する保育者の関わり－
	事前・事後学習	実際に教育実習や映像から考えられる総合的な活動を考え、指導案を作成する。
8	**授業内容**	生活の中の表現　－乳幼児の表現を育てるとは－
	事前・事後学習	音のはじまり、様々な体験が生む活動についてカリキュラムデザインを立案する。
9	**授業内容**	乳幼児の発達と表現①　様々な発達と表現
	事前・事後学習	劇的な表現活動に繋げる環境や教材を考え、遊びに発展するための工夫や方法を構成して、ノートにまとめておく。
10	**授業内容**	乳幼児の発達と表現②　コミュニケーションとしての表現
	事前・事後学習	大切な方へクリスマスカードを贈り、その方法と自ら得たことをノートに記録する。
11	**授業内容**	表現活動の環境構成と表現を支える保育者の役割
	事前・事後学習	保育者の役割について、教育実習で経験した事例を基にノートにまとめる。
12	**授業内容**	保育の中の表現活動①　－造形・言葉の表現－(クリスマスカード製作)
	事前・事後学習	年齢に相応しい造形的な教材を選び、読み聞かせの記録をする。
13	**授業内容**	保育の中の表現活動②　－音楽表現－
	事前・事後学習	各年齢に相応しい幼児曲リストを作成し、弾き歌いをした曲名をノートに記録する。
14	**授業内容**	保育の中の表現活動③　－身体表現と総合的な表現活動－　(映像視聴)
	事前・事後学習	身体的発達を理解して、教材の選定と指導計画案を立案する。
15	**授業内容**	表現活動から見られる子どもの表現と保育者の表現技術
	事前・事後学習	これまで学習した内容をノートにまとめ、筆記試験に臨む。